

信条

「私たち政治・行政に関わるものは、森羅万象、人にとっても環境においても**持続可能な社会の形成**をしていく責務を持ちます。そのためには、子や孫、後世に残してはならないものがあります。それは、**負担を超える膨大な借金、人と人が殺し合う戦争、人類と共存しえない核**です。

H26年9月議会の代表質問から



のだ富久のプロフィール

生年月日 1947年(S22)9月9日
職業 行政書士
学歴 福井大学工学部中退

略歴

民間会社勤務 (交代勤務・組合役員も経験)
県消費者団体連絡会 事務局長(ボランティア)
福井市議(3期連続) 1983年(S58)
福井県議(以後5期連続) 1995年(H7)

現在

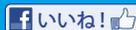
福井県議会議員
行政書士(県行政書士会 相談役)
福井県都市計画審議会 委員
県立大学地域公共政策学会 会員
福井県難病患者団体連絡協議会 顧問
福井県議会スポーツ促進議連 副会長
福井県庁職員組合 特別執行委員
福井市職員組合 特別執行委員

趣味
好きな歌手
スポーツ観戦
小田和正
さだまさし
松山千春
尊敬する人
チャップリン



のだ富久

とみひさ



野田富久

検索

〒918-8031 福井市種池町3-36
携帯電話 090-3292-6532
自宅電話/FAX 0776-36-2049
E-mail to-noda@mx1.fctv.ne.jp

Q. どうする原発! ?

A. 脱原発で新エネルギーに転換!

防災避難計画の実効性は未確立、近隣自治体の同意なし、使用済燃料の行き場もない、無い無いづくめで**原発再稼働に同意はできない**。事故後19年も休止している**危険なもんじゅ**は**廃炉**へ。若狭にはLNG等再生エネルギーと廃炉研究とその産業、観光産業、農林水産業の6次産業化で活路。

原発事故後、1週間以上経過しても避難する車は大渋滞。強力な交通規制とスクリーニングチェックがあり、人・モノ・車など汚染検査が行われ除染される。



Q. 人口減少と少子高齢化にどう立ち向かう! ?

A. 多様で高付加価値の産業育成と医療福祉県に!
企業に若者雇用・障害者雇用と
子育て支援にインセンティブ(動機づけ)を!
自治体財政が困窮する今後、選択と集中の行政。
流動人口(観光客など)の確保と観光産業の振興。



うつぶせ用治療台

平成23年開業時、陽子線ガン治療で乳がん治療を提言したが、すぐに6月議会に予算上程され、研究開発。26年10月日本初の臨床試験までに。朗報です。



賑わいのあるまちづくりを目指して
福井駅周辺のまちづくり

いま、正念場の福井県に!

Q. 高速交通と生活路線の交通は?

A. 北陸新幹線の工期短縮で早期開業! 中部縦貫自動車道の早期完成!

人、モノ、情報の交流で、産業、観光で効果を生む。
新幹線開業後の並行在来線の利便性の確保。
えち鉄・福鉄相互乗り入れ(武生~鷺塚針原間)の早期実現。
バス・タクシーを活用した地域交通のネットワーク拡充。

Q. 福井市と県の連携・調整は! ?

A. 私は責任を持って取り組むことができる!

県・市職員の顧問、議員生活で培ったネットワークを生かして、県都問題と地域の医療・介護のネットワークに引き続き全力を挙げる。
住民・市民の視点で行政との橋渡し。
H30年福井国体・全国障害者スポーツ大会の成功へ。